

5.

大学生生活について

大学への愛着

君は早稲田大学が好きですか？

早稲田大学が「好き」 **61.8%**

「やや好き」 **30.0%**

専門知識・研究の充実度

専門知識・研究の充実度は？

専門知識・研究を深める「充実」 **30.3%**

「やや充実」 **44.7%**

技術や資格取得の充実度

実践的な技術や資格が必要？

実践的な技術や資格を取得する

「充実している」 **9.8%**

「充実していない」 **16.7%**

教養の充実度

教養には自信あり!?

教養を深める「充実している」 **35.2%**

「やや充実している」 **42.7%**

課外活動の充実度

課外活動で大学生生活をエンジョイ

課外活動の充実度「充実している」 **44.3%**

「やや充実している」 **22.6%**

自由の満喫度

自由満喫の学生生活

自由を満喫する「充実している」 **58.0%**

「やや充実している」 **25.9%**

交友関係の充実度

豊富な友達資源

交友関係「充実している」 **43.4%**

「やや充実している」 **33.9%**

大学への要望

早稲田大学が取り組むべき問題は？

「キャンパスの人口過密対策」 **17.7%**

「学生の意見・要望の収集」 **17.3%**

「奨学金などの経済援助」 **15.5%**

「学生による評価制度」 **15.0%**



大学への愛着

1. 君は早稲田大学が好きですか？



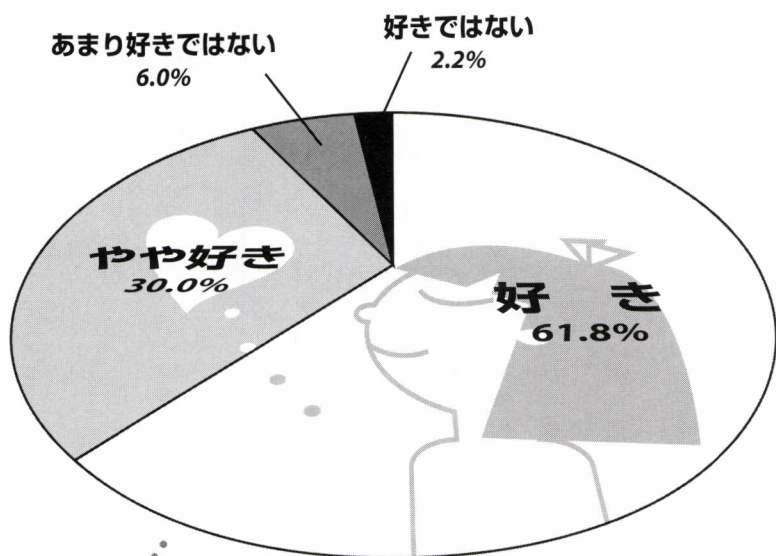
POINT

早稲田大学が「好き」61.8% 「やや好き」30.0%

学生の大半が早稲田大学のことを「好き」と答えています。それも学年が上がるにつれて、「好き」と回答する人が増えるのが特徴です。早稲田大学の自由な校風に親しみ、授業や課外活動を通して早稲田大学の良さを体験することで、愛着を強めていくのだと思われます。

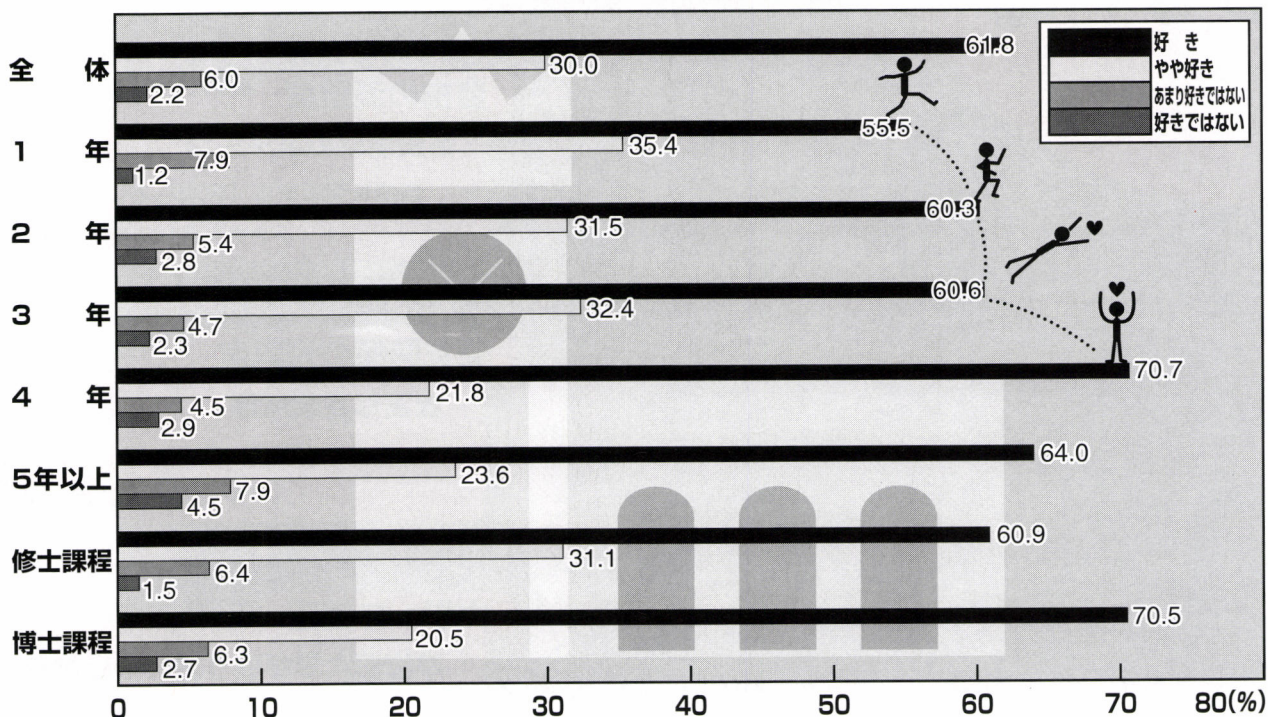
学生の種類別に見ると、社会人学生が最も早稲田大学に愛着を抱いており、「好きではない」と答えた人は1人もいませんでした。社会体験を重ね、学習意欲の強い社会人の評価が高いのは、早稲田大学の懐の深さのせいかもしれません。また早稲田大学に入学してくる社会人学生は、もともと早稲田大学に強い愛着を抱いていた人であった可能性も高いでしょう。

早稲田大学が好きですか？

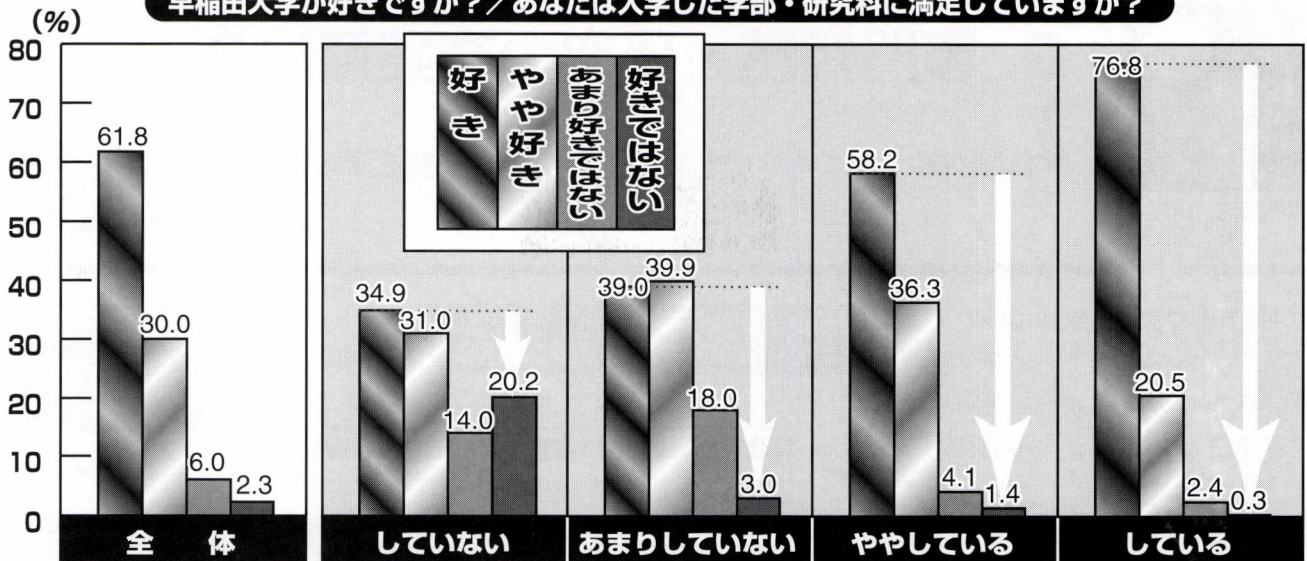


入試形態別に見ると、「一般入試」「推薦」「付属校進学」の間にはほとんど差がありません。いずれも「好き」と「やや好き」とを合わせると9割を超えています。

早稲田大学が好きですか？（学年別）



早稲田大学が好きですか？／あなたは入学した学部・研究科に満足していますか？



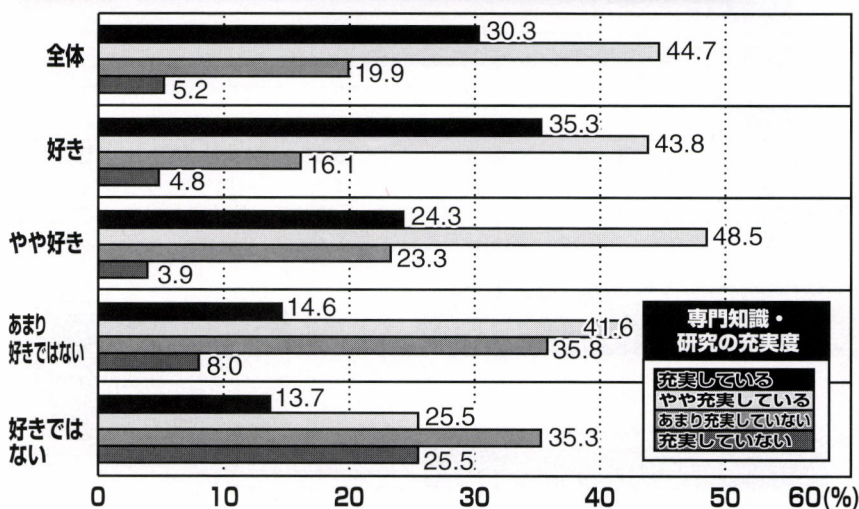
一方、早稲田大学に強い期待を抱いてきたはずの留学生の場合には、「あまり好きではない」と答えた人が10人に1人近くいます。これは一般学

生と同じ水準です。幸い「好きではない」人は皆無でしたが、少し気にかかる数字です。自由記述回答の中で、ある留学生は「就職、精神面、悩み

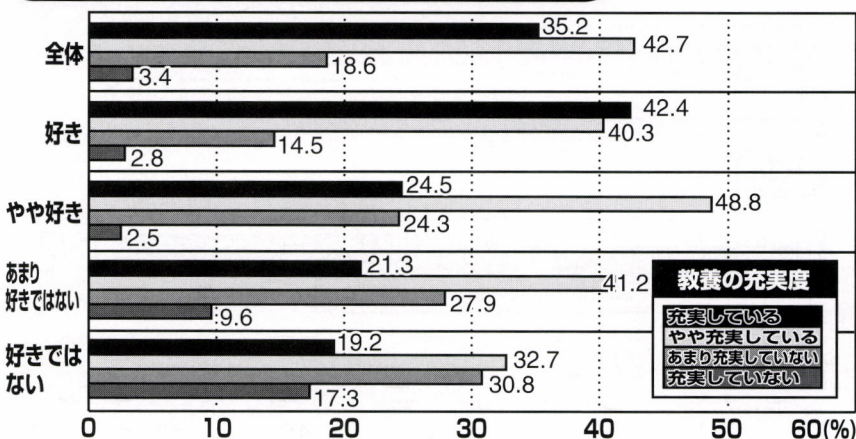
相談の相手がほしい」という意見を書いています。早稲田大学が海外との交流を重視し、多くの留学生を受け入れようとするなら、留学生が日本人社会へ適応するための情報提供や心のケアが十分かどうか、もう一度見直す必要があるようです。

第1章で述べてあるように、早稲田大学を「好き」と答えた学生の特徴は、「入学した学部・研究科」に満足しており、「授業への興味や満足度」が高いこと、また「専門知識や研究の深まり」、「実践に役立つ技術や資格を得る点での満足度」、「教養の深まり」、「自由の満喫の充足度」も高い傾向が強く見られることです。さらに彼らには、充実した「体育各部・サークル活動」に参加して「学業と両立」させているという自負心があり、「交友関係を構築」し、豊かなネットワークを持っている様子もうかがえます。

専門知識・研究を深めるという点で充実していますか？／早稲田大学が好きですか？



教養を深めるという点で充実していますか？／早稲田大学が好きですか？



専門知識・研究の
充実度

2. 専門知識・研究の充実度は？

POINT

専門知識・研究を深める「充実」30.3%
「やや充実」44.7%

早稲田大学へは校風に憧れて入学する学生が多いのですが、大学での専門知識の獲得や研究を深めることへの期待も大きいはずです。

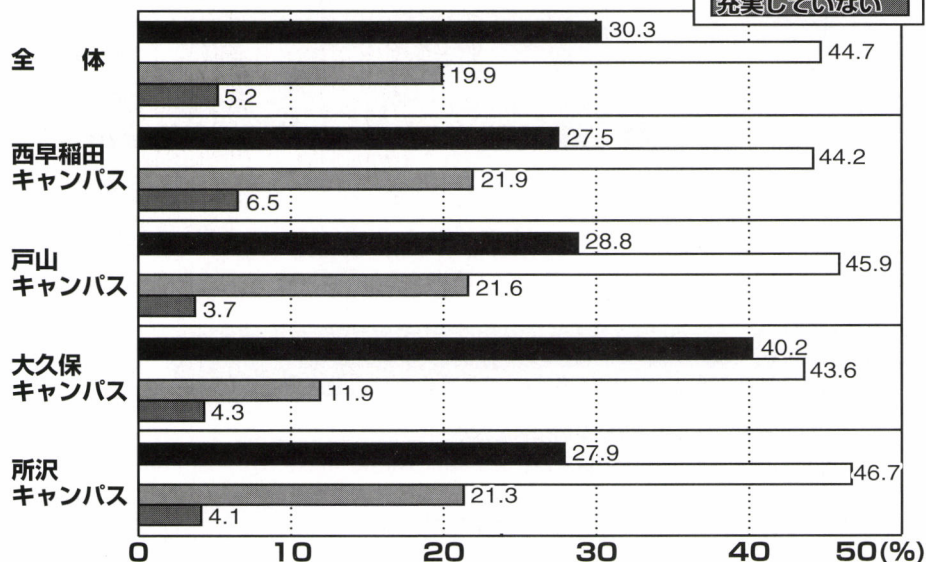
専門知識・研究を深めることの充実度をキャンパス別に比較すると、大久保キャンパスの充実度が高いことが分かります。西早稲田、戸山、所沢の3キャンパスでは、「充実」がいずれも30%弱、大久保では「充実」が40%で10ポイント程の開きがあります。理工学部に入学者の志望動機の明確さ、そして充実した専門教育と研究活動が展開されていることが推測されます。

学部と大学院を比べると、大学院での充実度の高さがはっきり表れています。大学院は専門教育機関ですから当然の結果ですが、学部での専門教育の在り方について課題があるとも読めます。

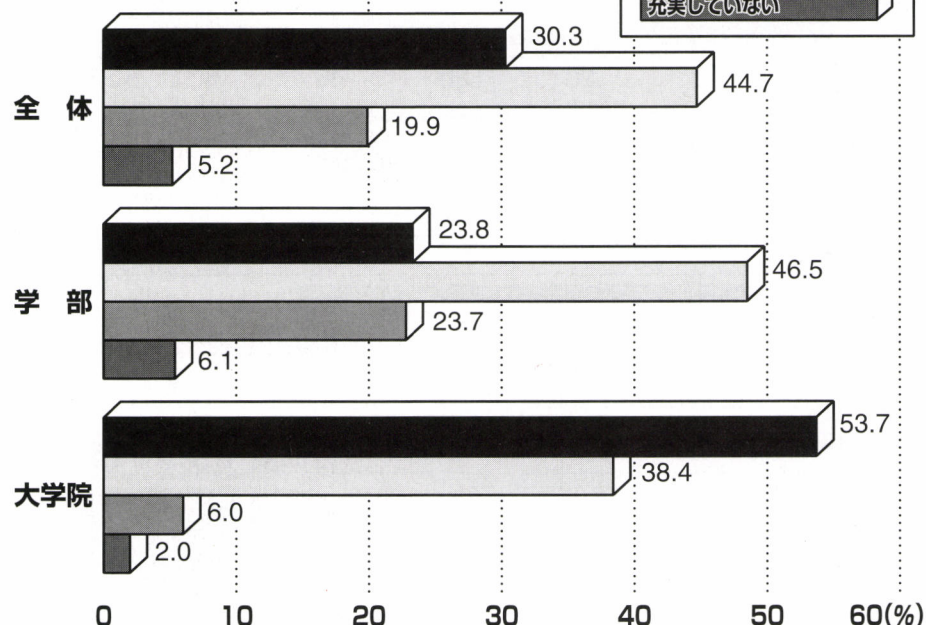
専門知識・研究を深める点で充実していると回答した学生は、「実践に役立つ技術や資格を得る」や「教養を深める」という点でも充実しており、「授業への興味や満足度」、「入学した学部・研究科への満足度」も高いと答えています。

専門知識・研究を深めるという点で
充実していますか？（キャンパス別）

専門知識・研究の充実度

 充実している
 やや充実している
 あまり充実していない
 充実していない


専門知識・研究に充実感を見出せない学生は、授業選択を「出席チェックの有無」や「単位取得の難易」で行いやすいようです。専門知識・研究に充実感を得られないと答える学生は、能動的な学習意欲に欠ける学生であることが多くなっています。

専門知識・研究を深めるという点で
充実していますか？（学部・大学院別）
 充実している
 やや充実している
 あまり充実していない
 充実していない




技術や資格取得の
充実度

3. 実践的な技術や資格が必要？



POINT → 実践的な技術や資格を取得する「充実している」

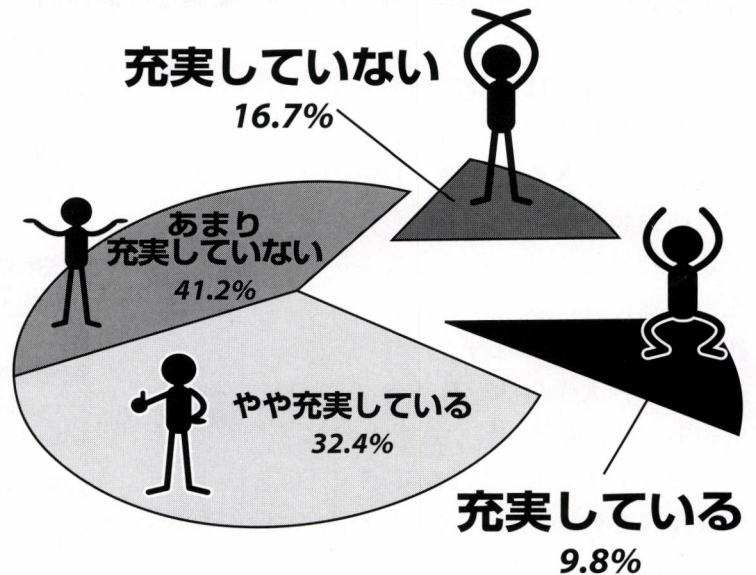
「充実していない」
9.8%
16.7%

実践的な技術や資格取得に関して厳しい評価が出されましたが、この解釈は難しいです。世の中の資格重視の影響で、大学教育にも実利的な内容を期待する気持ち強いのか、やはり専門教育や教養教育の充実の方が重要と考えているのかは不明です。

実践的に役立つ技術や資格が充実していると回答した学生は、「入学した学部・研究科への満足度」、「授業への出席率と満足度」、「教養を深める充実感」が高いのが特徴です。また「大学での授業や研究・勉強が将来の進路先で役に立つ」と答えています。一方、「充実していない」と答えた学生は、進路に必要な能力として「ビジネス知識」を挙げる者が最も多く、「インターンシップ」の希望が高いのも特徴です。

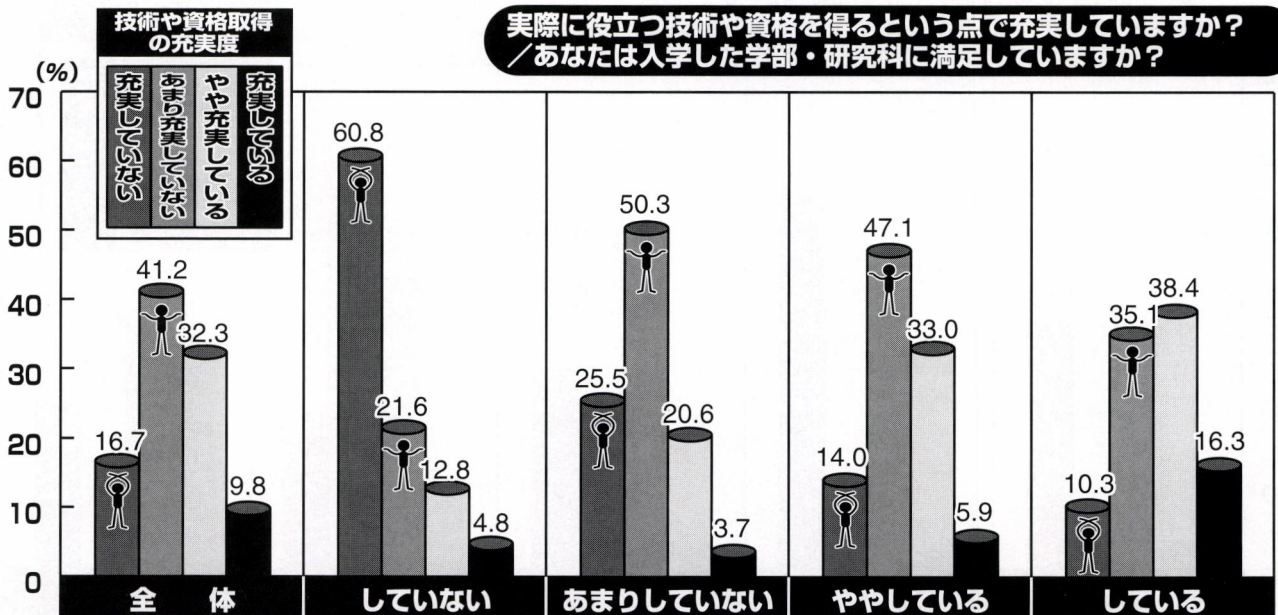
前頁で紹介したように、実践的な技術や資格取得の評価が低い学生は、「専門知識・研究の充実度」の評価も低い傾向がはっきりしています。昨年度の学生生活調査結果を見ても、主体的な選択

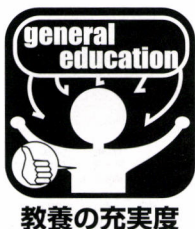
実際に役立つ技術や資格を得るという点で充実していますか？



をしないで入学した学生の大学に対する満足度は各指標で低く出ています。早稲田大学の教育カリキュラムを実践的な視点から見直すことは当然として、学生の主体的な勉学意欲の視点からも検討すべき問題だと考えられます。

実際に役立つ技術や資格を得るという点で充実していますか？
／あなたは入学した学部・研究科に満足していますか？

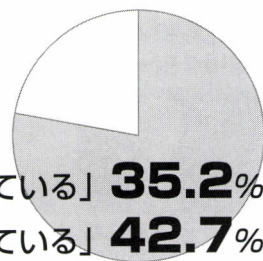




4. 教養には自信あり!?

POINT

教養を深める「充実している」**35.2%**
「やや充実している」**42.7%**



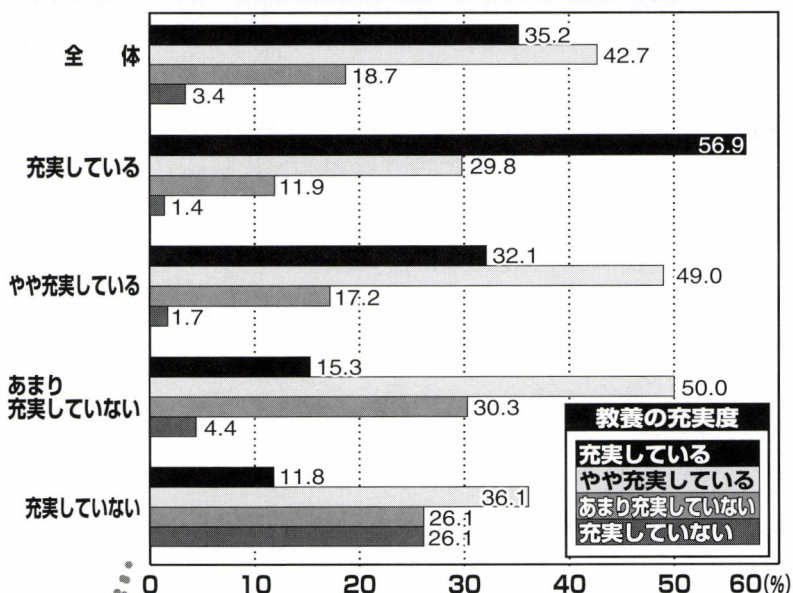
教養を深めることができていると回答する学生は、「専門知識や研究でも充実」していると答えています。教養教育と専門教育とは密接に関連していることが分かります。どちらも充実していると回答できる学生は、自分の学習や生活経験を多様な観点から意味付けできるのでしょう。こうした意味探求能力の獲得は、教養教育が目標とする能力の1つだと思います。

例えば、大学生活が教養を深めるのに充実していると回答する学生は、「大学での授業や研究・勉強が将来の自分の進路先で何かの役に立つ」と感じながら学習しています。それゆえ、大学の授業に対する興味や満足度が高い傾向が顕著に見られますし、入学した学部・研究科に対する満足度も高くなっています。

一方、教養の充実度を低く評価する傾向がある学生は、将来に向けての準備で「インターンシップ」を選択する者が相対的に多いようです。職業

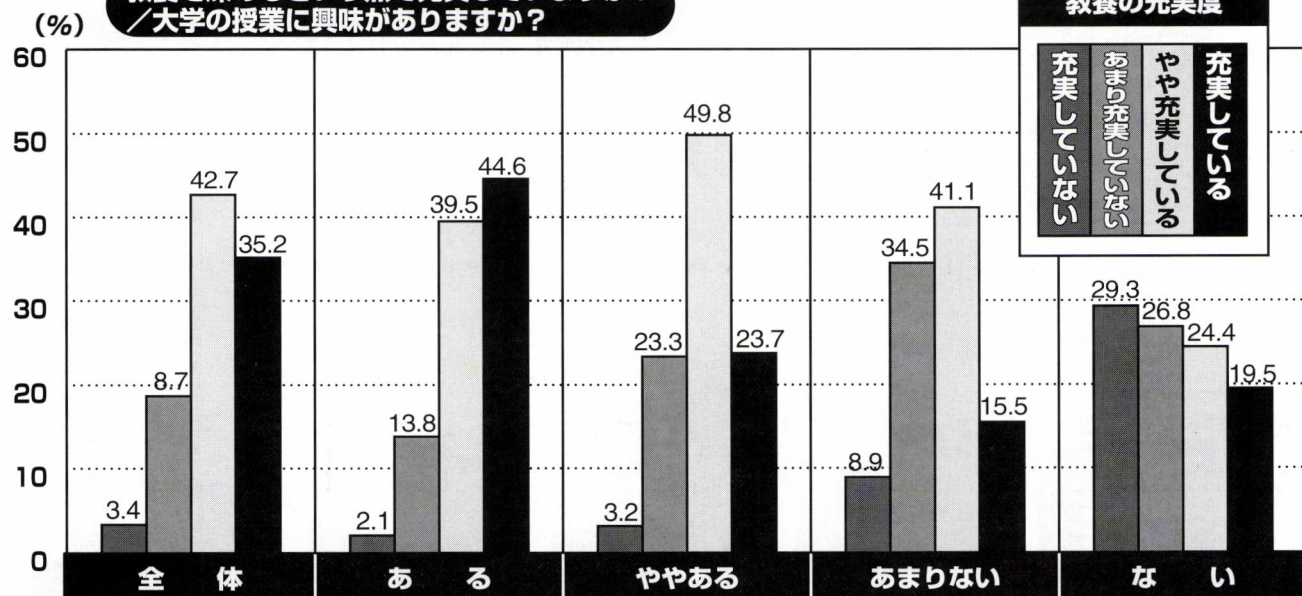
活動に役立つ実利的知識を講じる授業の少なさを、教養の充実度の低さにとらえているのかもしれませんが。

教養を深めるという点で充実していますか？／
専門知識・研究を深めるという点で充実していますか？



ちなみに教養を深めるのに最も充実しているのは戸山キャンパス、最も充実度が低いのが大久保キャンパスでした。

教養を深めるという点で充実していますか？／
大学の授業に興味がありますか？





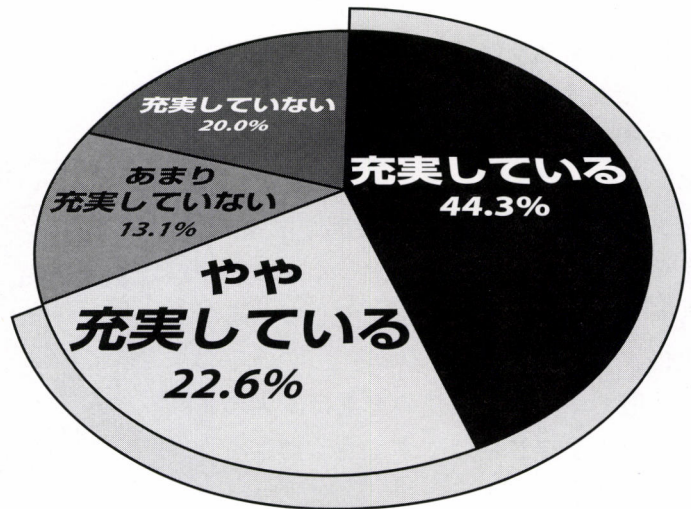
5. 課外活動で大学生活をエンジョイ

POINT → 課外活動の充実度「充実している」**44.3%**
「やや充実している」**22.6%**

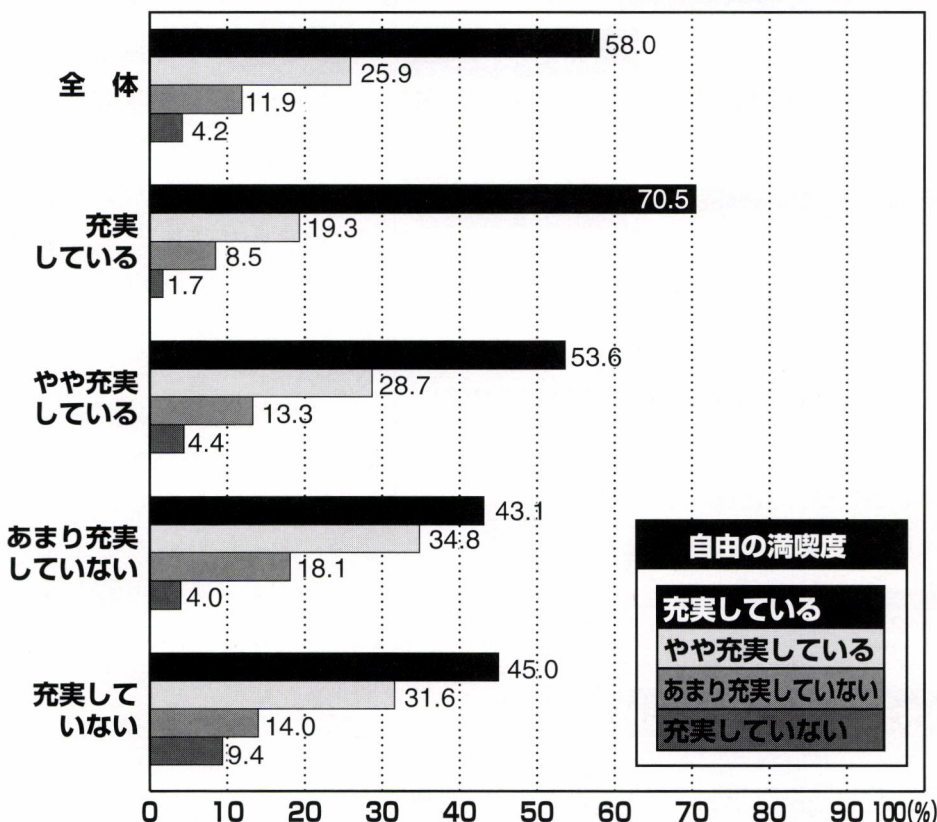
早稲田大学には課外活動が活発に行われているイメージが強くあります。確かにキャンパス内にはサークル関係の看板が多く、掲示板にはポスターが溢れんばかりに貼られています。

全体の3分の2の学生が、体育各部・サークル等では充実した課外活動が行われていると回答しています。充実した課外活動を行っていると答えた学生は、大学生活で「自由を満喫」し、「交友関係でも充実」していると答えています。自発的な参加によって成立する課外活動の中で、自分らしさをのびのびと発揮している様子が読み取れます。またそうした活動を通して、異年齢の仲間や異なる学部

体育各部・サークル等での活動という点で充実していますか？



自由を満喫するという点で充実していますか？／体育各部・サークル等での活動という点で充実していますか？



の仲間との接触が可能になり、幅の広い友人のネットワークを作り上げているのでしょう。課外活動に積極的な学生の生き生きとした大学生活がうかがえます。

充実した課外活動を行っている学生には、大学からの「課外活動援助」の強化を望む声が聞かれます。学生の充実した課外活動に必要な大学の援助とは何か。学生の皆さんと一緒に検討する必要があります。



自由の満喫度

6. 自由満喫の学生生活



POINT

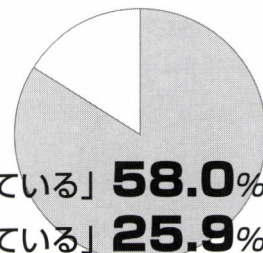
自由を満喫する

「充実している」

58.0%

「やや充実している」

25.9%



早稲田大学は自由な大学だと言われるとおり、大学生生活の自由を満喫している学生は多いという結果が得られました。

自由の満喫度は学年が上がるにつれて増加します。特に4年生で満喫度が高いのが目立ちます。これには多くの要因が影響していますが、特に卒業に必要な履修科目数の減少が大きな要因でしょう。先輩の目を気にする必要がなくなることもあるでしょう。自由を満喫している学生は、「交友関係でも充実」しているのが特徴です。友人関係の充実は、大学生生活の自由を感じさせやすくする働きをもっているようです。

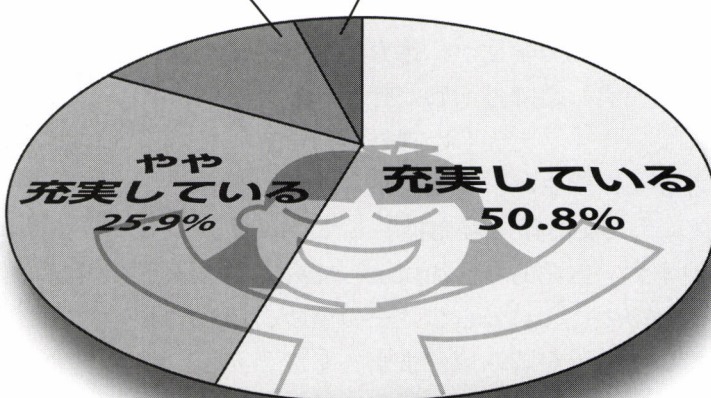
自由を満喫するという点で充実していますか？

あまり充実していない

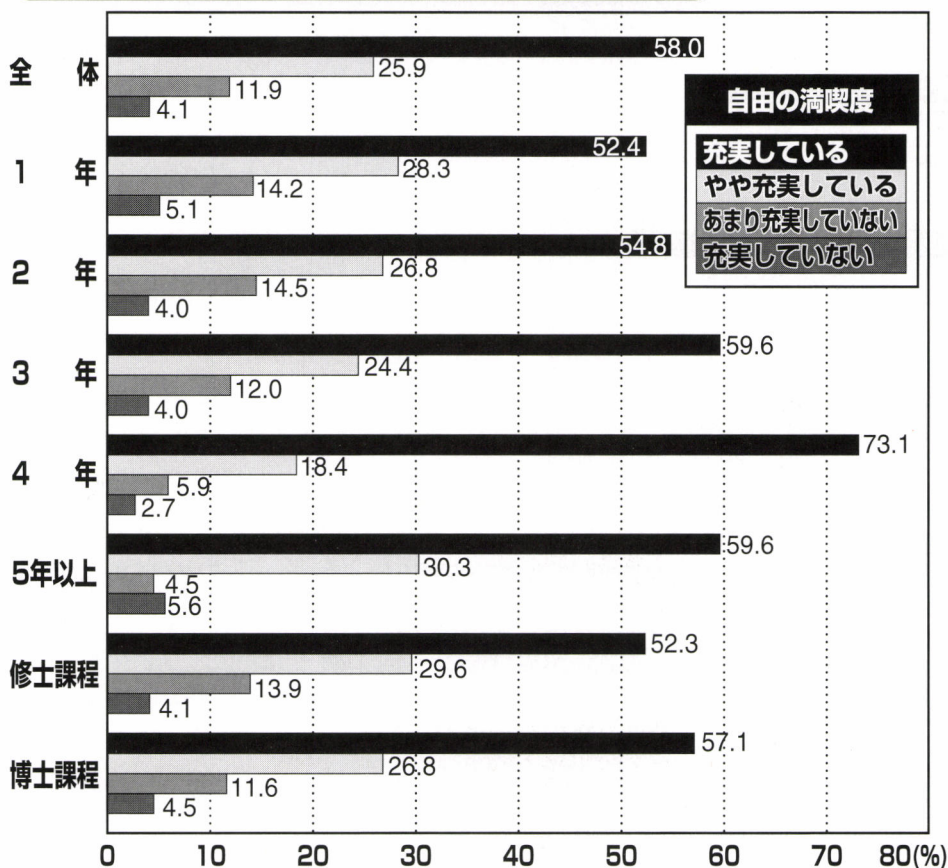
11.9%

充実していない

4.1%

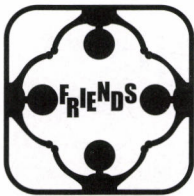


自由を満喫するという点で充実していますか？（学年別）



キャンパスごとに比較すると、「大久保キャンパス」ではこの自由の満喫度がやや低い結果が表れています。理工学部がもつ学問の性格上、実験等での時間の制約が他のキャンパスより厳しいためでしょう。

自由の満喫度が高い学生は、「課外活動と学業とを両立」させていると答えています。大学生生活の自由は、課外活動と学業とのバランスの上にあることを早大生の多くは実践しているようです。



交友関係の充実度

7. 豊富な友だち資源



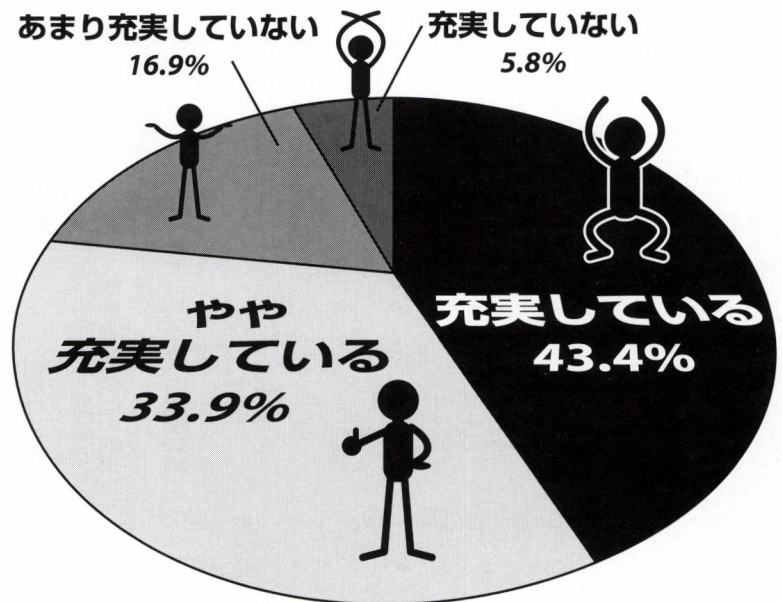
交友関係「充実している」**43.4%**
「やや充実している」**33.9%**

早稲田大学には全国から多彩な個性を備えた学生が集まってきます。そうした多様な仲間との出会いの場が早稲田大学にはあります。人の垣根の中で^{るつぽ}の切磋琢磨。学生はこの大きな劇場で育ち合います。

事実、交友関係が充実していると答えた学生は77.3%に達しています。彼らは仲間との遠慮のないぶつかり合い体験をし、実社会へ向けての助走を開始します。

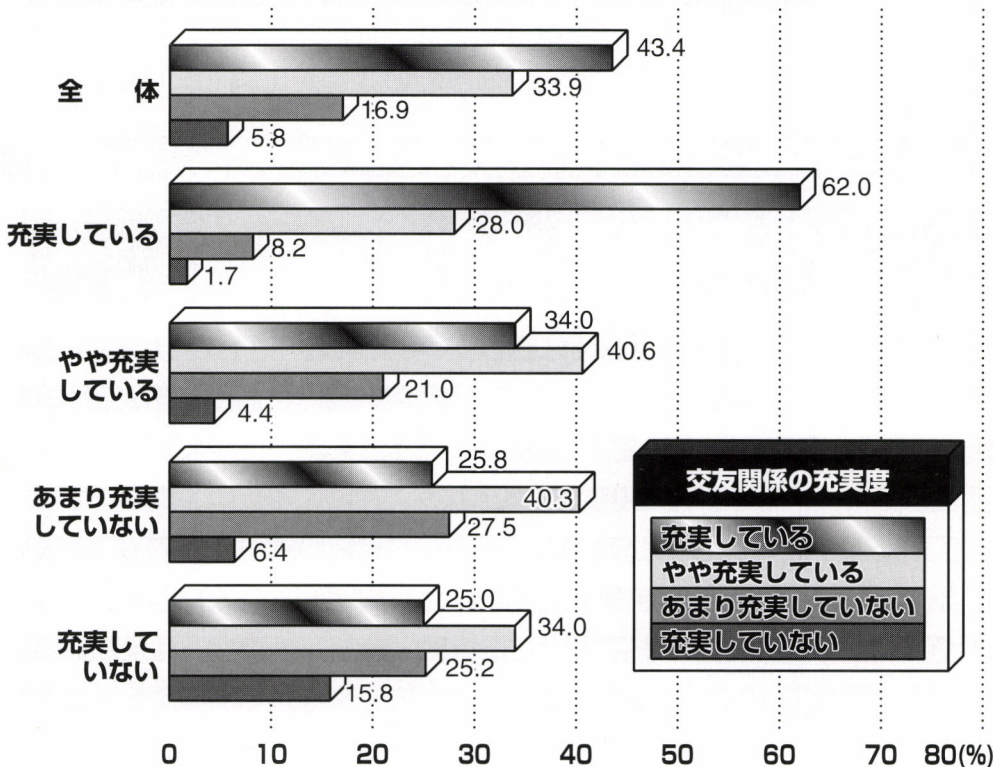
こうした交友関係が充実していると答えた学生は、「早稲田大学が好き」で、「入学した学部や研究科に満足」しています。早稲田の魅力は個性豊かな友人との出会いにあることを学生も

交友関係を構築するという点で充実していますか？



交友関係を構築するという点で充実していますか？

／体育各部・サークルなどでの活動という点で充実していますか？



知っているのでしょう。「課外活動への参加」は交友関係を育てる働きがあることが分かります。

交友関係が充実している学生は、学園祭の開催を待ち望んでいます。「課外活動の成果発表」、「早大生としての一体感」、「他大学や社会との交流」などができる公正な学園祭の実現が望まれます。



8. 早稲田大学が取り組むべき問題は？

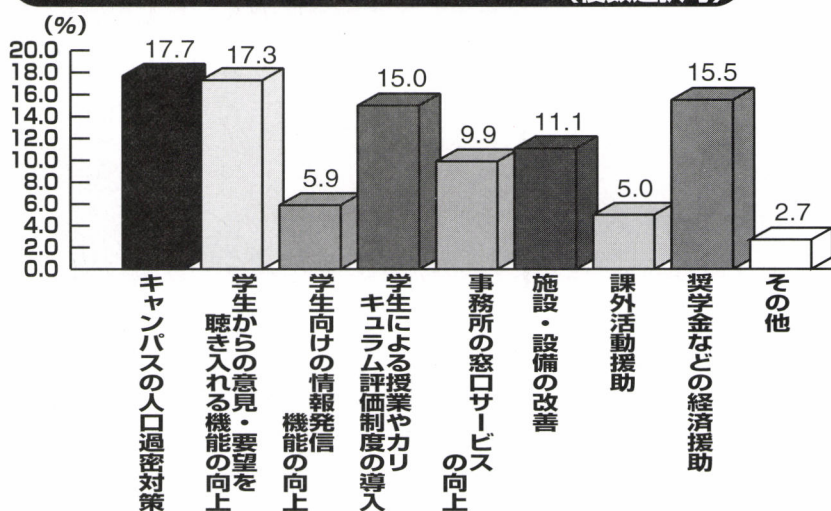
POINT → 「キャンパスの人口過密対策」**17.7%** 「学生の意見・要望の収集」**17.3%**
「奨学金などの経済援助」**15.5%** 「学生による評価制度」**15.0%**

学生が最も大学に取り組んでほしいと思っているのは、「キャンパスの人口過密対策」と「学生の意見・要望を聴き入れる機能の向上」の2つです。どちらも今後の重要な検討課題です。しかしこの2つを学年別に比較すると、「人口過密対策」は学年が上がるにつれて低下しますが、「意見・要望の聴取機能の向上」は逆に増加します。早稲田大学での生活経験が増すにつれて要望が強まる「意見・要望の聴取機能の向上」については、その具体的内容・方法・限界を明確にしていく必要があると思われます。

「奨学金などの経済援助」は大学院学生、特に博士課程の学生が強く要望しています。博士課程の学生に研究活動の主体となり新たな研究領域を開拓することを期待するなら、十分な経済援助を保証して、その潜在力を開花させる使命が早稲田大学には求められます。

「学生による授業やカリキュラムの評価制度の導

あなたが大学に取り組んでほしいと思う問題は何ですか？
(複数選択可)



入」は徐々にではありますが、実行に移されつつあります。今後さらに広く導入されていくことになるでしょう。学年が上がるにつれて要望が増すものに「事務所の窓口サービス向上」があります。これも学生サービスの向上を目指して改善の動きが出てきています。

キャンパス生活のアメニティの向上は学生の願いです。

あなたが大学に取り組んでほしいと思う問題は何ですか？ (学年別) (複数選択可)

